TOSHIBA

東芝DVDビデオプレーヤー取扱説明書

形名 **SD-200J**

- このたびは東芝DVDビデオプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのDVDビデオプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

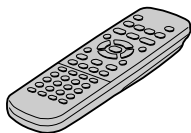
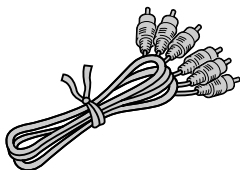
ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

このDVDビデオプレーヤーのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、このプレーヤーでは再生できません。（このとき画面に表示が出ます。）

付属品

本機には下記の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン 単三形乾電池×2個	映像・音声接続コード

もくじ

はじめに ●お使いになる前に必ずお読みください。

接続 ●再生する準備をします。

再生（基本編） ●ディスクを再生してみましょう。

再生（応用編） ●こんな使いかたもできます。

機能設定 ●お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

その他

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
禁　止	“⃠”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

⚠警告

設置されるとき

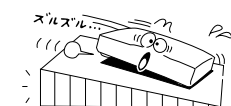
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

上に物を置かないこと

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

修理・改造・分解はしないこと

火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ディスクトレイなどから異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと

感電の原因となります。

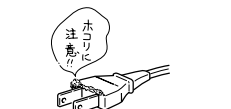
電源コードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

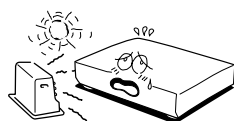
お手入れについて

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。

⚠注意

設置されるとき

温度の高い場所に置かないこと

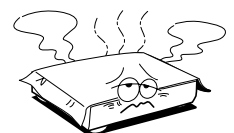
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

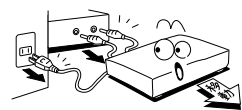
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所に置かないこと

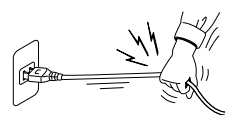
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- ●壁に押しつけないでください。
- ●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- ●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- ●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- ●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁止

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ディスクトレイに、手を入れないこと

指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

ご使用になるとき

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

リモコンに使用している乾電池は、

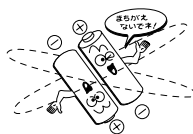
●指定以外の乾電池は使用しないこと

●極性[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと

●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと

●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと

●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

使用上のお願い

取り扱いに関すること

■ 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ 長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

● 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
● 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
● よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境(温度、湿度、ほこり)などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検・清掃されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

日本国内用です

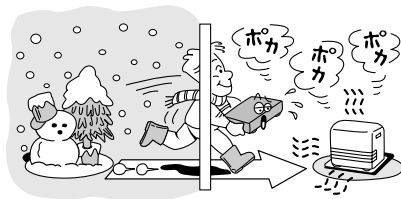
本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This DVD video player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

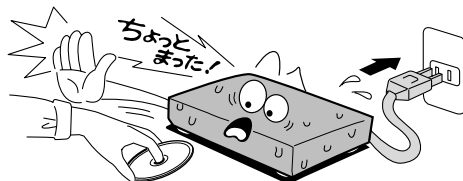
結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを"結露(露付き)"といいます。

■ "結露"はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■ **結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。**

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2〜3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくと"結露(露付き)"が生じにくくなります。

ディスクについて・お知らせ

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ ディスク	DVD VIDEO DVD VIDEO	映像 (動画) ＋ 音声	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	映像 (動画) ＋ 音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm (CDシングル)

以下のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットのDVD－Rディスク
- CD－DA(音楽用CD)フォーマットのCD－R／CD－RWディスク

ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のディスクでも、DVD－RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

■ ビデオCDについて

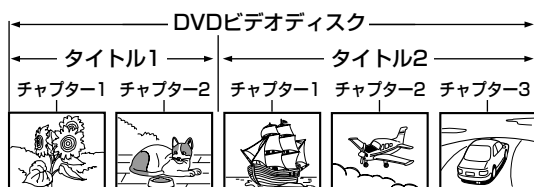
本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback(プレイバック) Control(コントロール)の略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。 この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクにマークがあっても、データの作りかたやディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
市販されているDVDビデオディスクであっても再生できないことがあります。
その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。
(連絡先は裏表紙に記載されています。)

ディスクについて・お知らせ（つづき）

ディスクに関する用語について

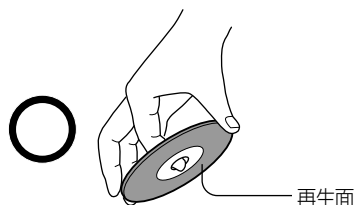
一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

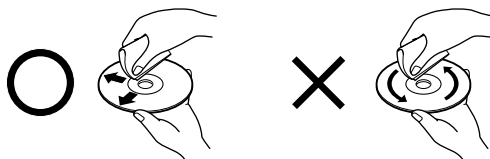
トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

● よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの □〉内のページをご覧ください。

前面

▶（再生／リプレイ）ボタン 26〉28〉

表示窓 13〉

⏏（オープン／クローズ）ボタン 26〉

電源表示 26〉

ディスクトレイ 26〉

リモコン受光部 15〉

⏮/⏭（スキップ）ボタン 31〉

⏸（一時停止）ボタン 27〉

電源ボタン 26〉

■（停止）ボタン 27〉

背面

S1映像出力端子 18〉

映像出力端子 18〉

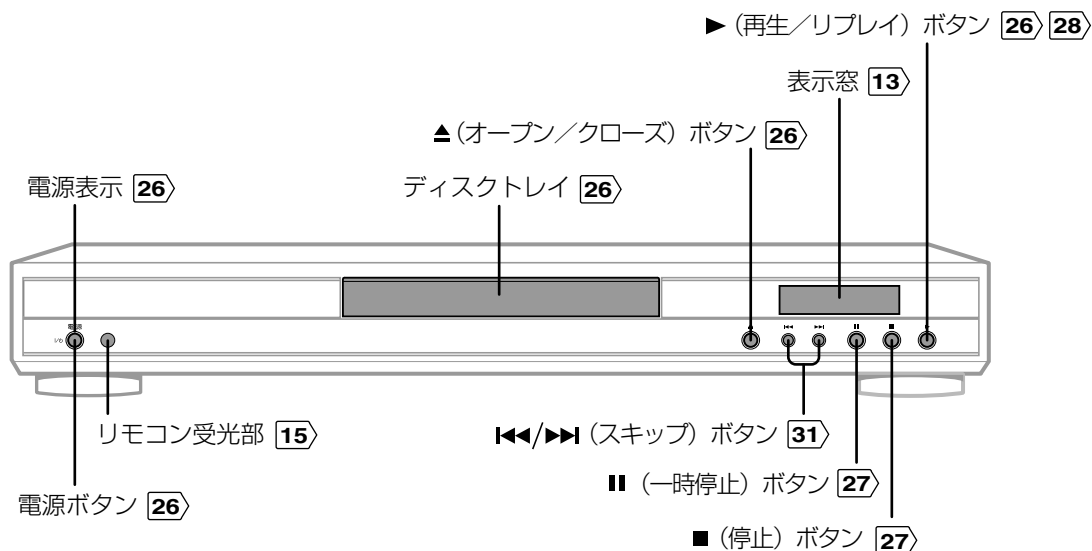
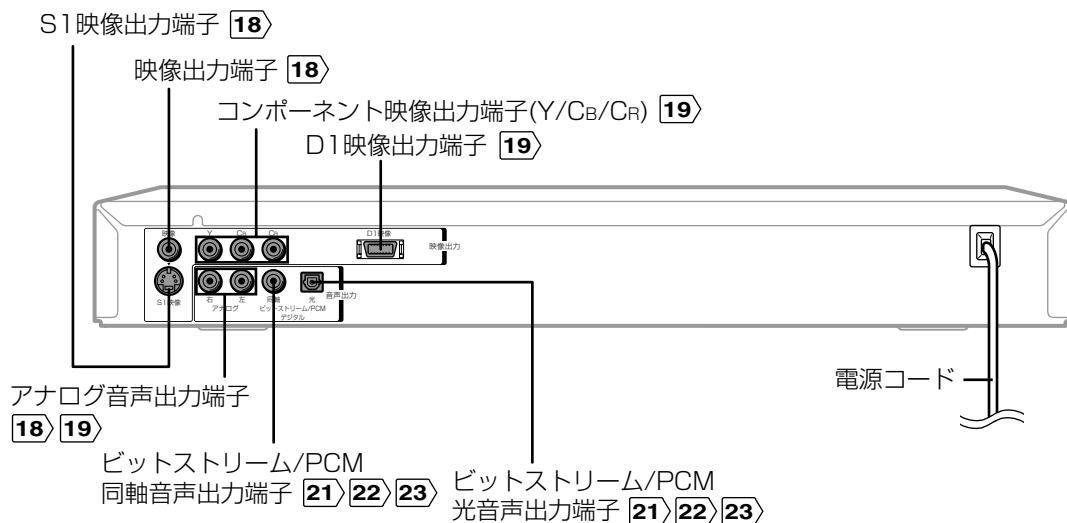
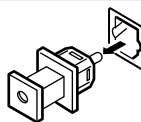
コンポーネント映像出力端子(Y/CB/CR) 19〉

D1映像出力端子 19〉

電源コード

アナログ音声出力端子 18〉19〉

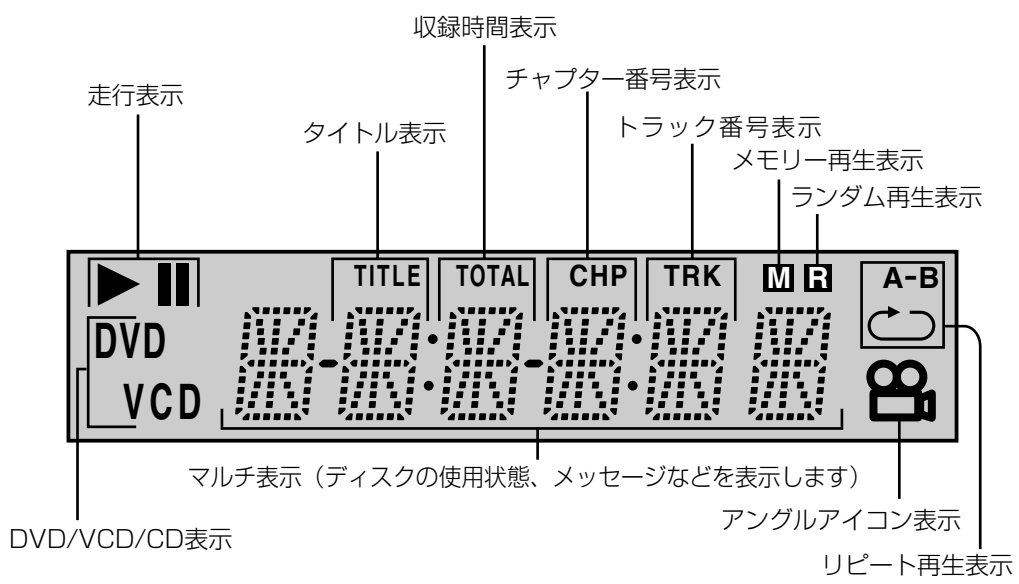
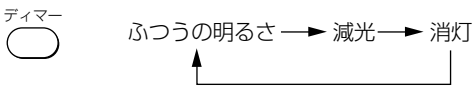
ビットストリーム/PCM
同軸音声出力端子 21〉22〉23〉

ビットストリーム/PCM
光音声出力端子 21〉22〉23〉

光デジタルケーブルを接続するときは、
キャップをはずし、形状を合わせて奥まで
しっかり差し込んでください。
端子を使わないときは、ほこりが付かない
ようキャップを取り付けてください。

表示窓

リモコン上のディマーボタンを押すごとに、表示窓の明るさが切り換わります。

ディマー

ふつうの明るさ → 減光 → 消灯

収録時間表示
チャプター番号表示
走行表示
タイトル表示
トラック番号表示
メモリー再生表示
ランダム再生表示
TITLE TOTAL CHP TRK M R A-B
DVD
VCD
マルチ表示（ディスクの使用状態、メッセージなどを表示します）
アングルアイコン表示
DVD/VCD/CD表示
リピート再生表示

■ 表示窓の見かた

表示窓切換

再生を始めると経過時間を表示します。タイトル番号／チャプター番号／トラック番号を表示するときは表示窓切換ボタンを押してください。表示が切り換わります。
ディスクによっては切り換わらないことがあります。

再生するディスクの種類で表示が異なります。

DVDビデオディスク

• 再生しているとき

(例)

TITLE CHP
DVD
2- 3

タイトル番号2のチャプター番号3を再生

チャプター番号や経過時間を表示しないディスクもあります。

ビデオCD(VCD)

• 再生しているとき

(例)

トラック番号6を再生

トラック番号や経過時間を表示しないディスクもあります。

音楽用CD

• 再生しているとき

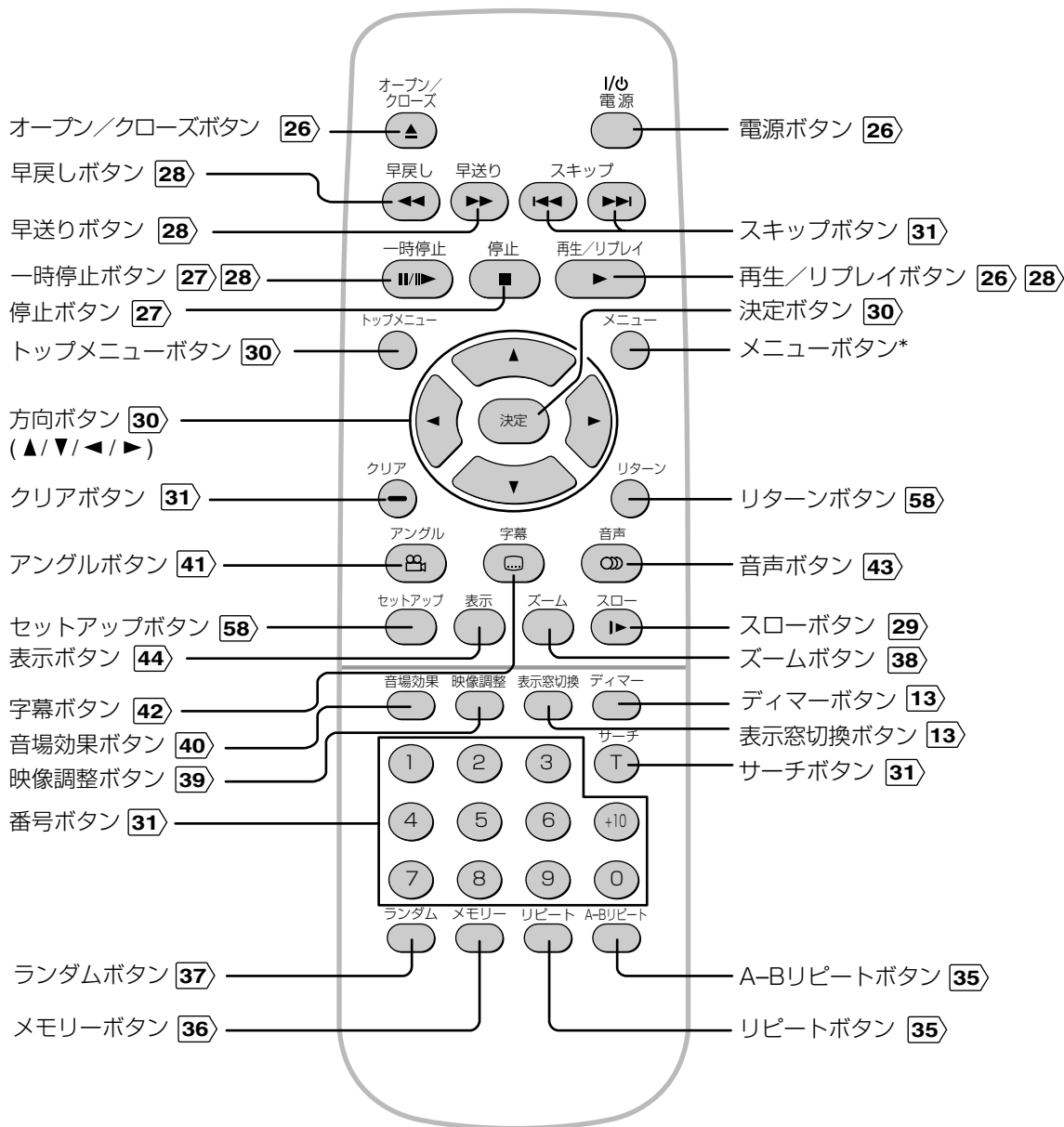
(例)

トラック番号6を再生

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はリモコンを使っています。くわしくは、なまえの □ 内のページをご覧ください。

リモコン

- オープン／クローズボタン 26
- 早戻しボタン 28
- 早送りボタン 28
- 一時停止ボタン 27 28
- 停止ボタン 27
- トップメニューボタン 30
- 方向ボタン 30（▲/▼/◄/►）
- クリアボタン 31
- アングルボタン 41
- セットアップボタン 58
- 表示ボタン 44
- 字幕ボタン 42
- 音場効果ボタン 40
- 映像調整ボタン 39
- 番号ボタン 31
- ランダムボタン 37
- メモリーボタン 36
- 電源ボタン 26
- スキップボタン 31
- 再生／リプレイボタン 26 28
- 決定ボタン 30
- メニューボタン*
- リターンボタン 58
- 音声ボタン 43
- スローボタン 29
- ズームボタン 38
- ディマーボタン 13
- 表示窓切換ボタン 13
- サーチボタン 31
- A–Bリピートボタン 35
- リピートボタン 35

＊ メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」30 と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

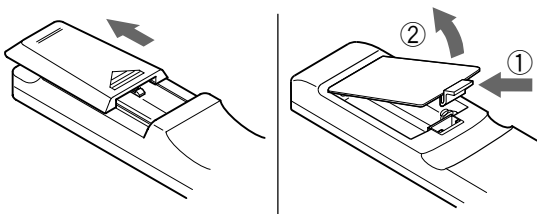
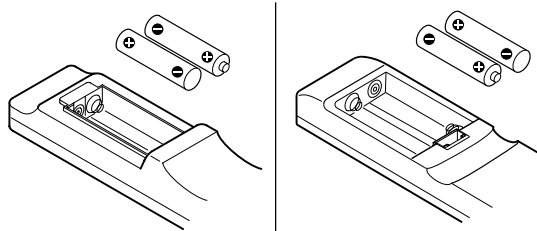
⚠注意

■ リモコンに使用している乾電池は
- ● 指定以外の電池は使用しないこと
- ● 極性表示[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと
- ● 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
- ● 乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと
- ● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■付属されているリモコンについて
リモコンは2種類あり、どちらか一方が同梱されています。
電池カバーの違いだけで、リモコン自体の性能に違いはありません。乾電池の入れかたは、リモコンのイラストに合わせて行ってください。

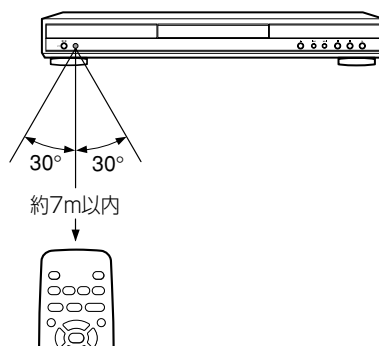
乾電池の入れかた

1 フタをはずす

2 乾電池を入れる

乾電池の+、−を確かめて入れてください。

3 フタを閉める

■乾電池について
リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい乾電池と交換してください。

リモコンで操作するには

本体に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面より約7m以内です。
角度：リモコン受光部より上下左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

■リモコンについて
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

接続

再生する準備をします。

- ●テレビとの接続
- ●オーディオ機器やコンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続
- ●ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する
- ●ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する
- ●DTSデコーダー内蔵アンプと接続する
- ●MPEG2デコーダー内蔵アンプと接続する
- ●デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

テレビとの接続

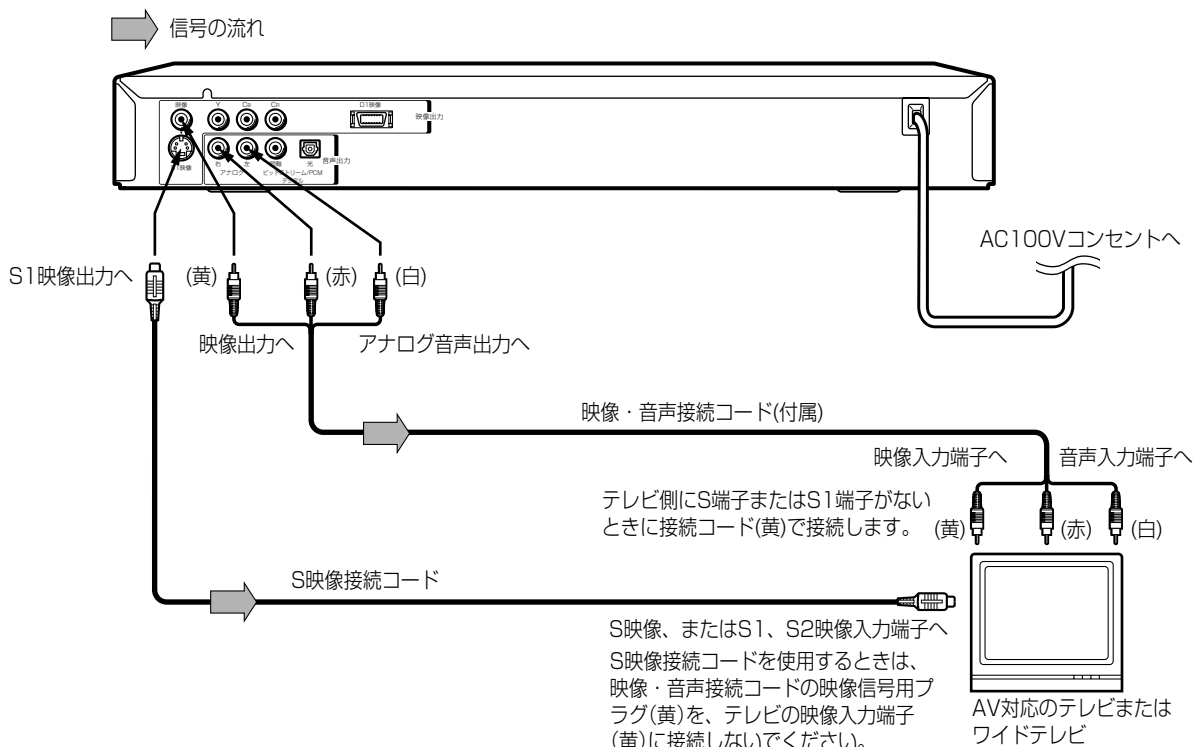
本機の映像と音声をテレビで楽しむ場合に接続します。
出力される音声の種類については43をご覧ください。

⚠警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

テレビとの接続

信号の流れ

S1映像出力へ (黄) (赤) (白)
映像出力へ アナログ音声出力へ
AC100Vコンセントへ
映像・音声接続コード(付属)
映像入力端子へ 音声入力端子へ
テレビ側にS端子またはS1端子がないときに接続コード(黄)で接続します。 (黄) (赤) (白)
S映像接続コード
S映像、またはS1、S2映像入力端子へ
S映像接続コードを使用するときは、映像・音声接続コードの映像信号用プラグ(黄)を、テレビの映像入力端子(黄)に接続しないでください。
AV対応のテレビまたはワイドテレビ

ワイドテレビと接続するときは

ワイドテレビと接続するときは、S映像接続コードでテレビのS1映像入力端子と接続してください。S1映像端子は、アスペクト比(画面の縦・横比)の異なった映像を自動的に識別する機能を持つ端子です。
DVDビデオディスクのなかには、映像がフルモードで記録されたものがあります。このディスクをS1映像入力端子に接続して再生すると、自動的にワイドテレビ画面に16:9の比率で映像を表示します。(オートワイド機能)
本機はS2映像入力端子にも接続できます。

• 下の設定を行ってください。

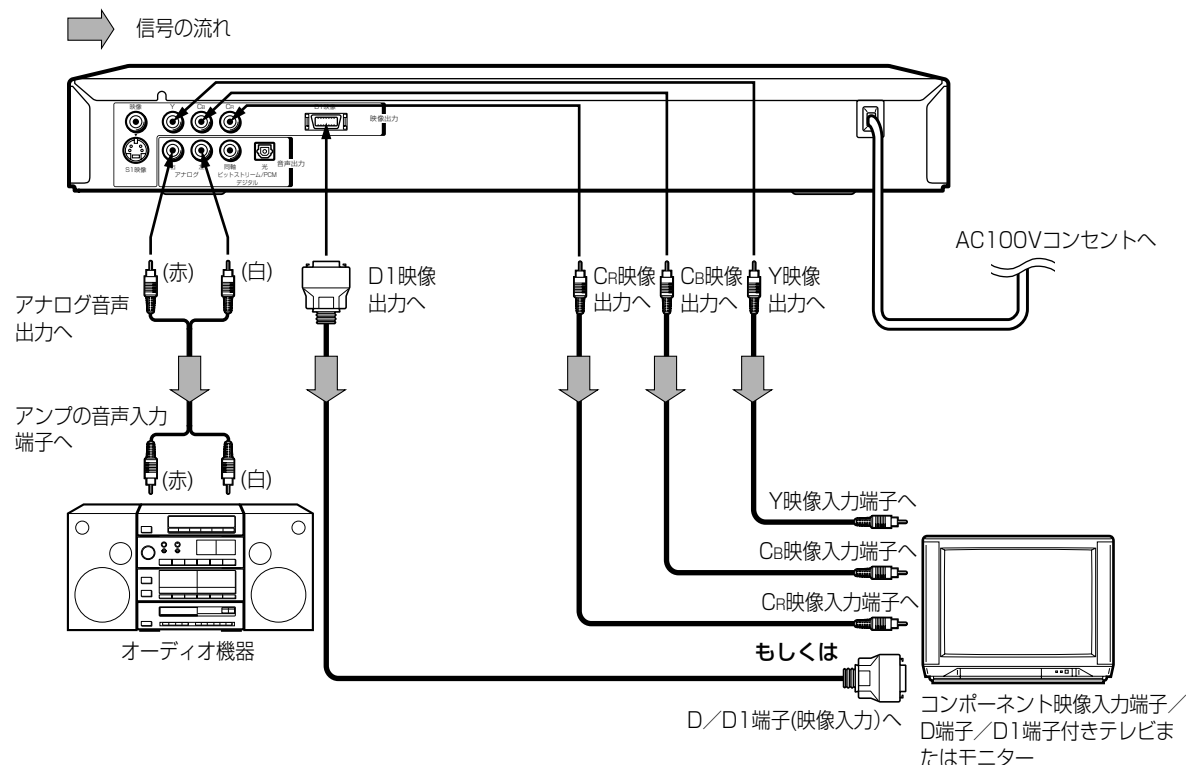
設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2CH」	58 60

お願い

• 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
• 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
• テレビの音声入力端子がモノラルのときは、別売りの接続コードTSC-AX05を使用して接続してください。
• 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きにより正常な画像にならないことがあります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。

オーディオ機器やコンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続

コンポーネント映像出力端子やD端子について

テレビやモニターなどには、コンポーネント映像入力端子(Y、CB、CR)やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、より高画質で再生が楽しめます。コンポーネント映像入力端子の名称は、テレビやモニターにより異なります。(例えば Y、R-Y、B-Y など)

接続するテレビやモニターによって、再生する画像の色が薄くなったり色相が変わることがあります。このときには、テレビやモニター側で調整してください。

- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2CH」	58 60

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音が入ることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

他の機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

- テレビとの接続は 18 19をご覧ください。
- 出力される音声の種類については 43をご覧ください。
- 図中の記号の意味は以下のとおりです。

フロントスピーカー	センタースピーカー
サラウンドスピーカー	⇨ 信号の流れ
サブウーファー	

お願い

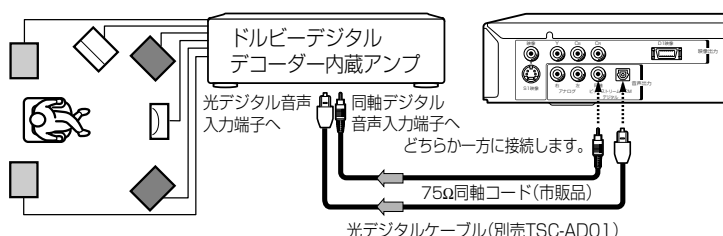
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

⚠ 警告

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「音声出力設定」を必ず「PCM」にしてください。58 60 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、アナログ音声出力端子からは過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機のアナログ音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCM音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル

最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- ドルビーデジタル対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	58 60
音声方式	DD D	43

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する

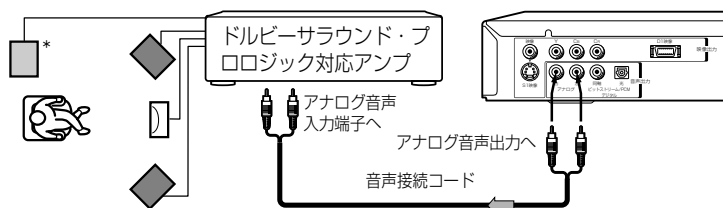
ドルビーサラウンド・プロロジック

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと、フロント、センター、サラウンドスピーカーを接続することにより、迫力ある臨場感で音声を楽しめます。

■ **ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには**

「ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する」と同じ接続をします。アンプの取扱説明書にしたがって、ドルビーサラウンド・プロロジックが聞けるように設定してください。

■ **ドルビーデジタルに対応していないアンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには**

以下のように接続してください。

- 下の設定を行ってください。

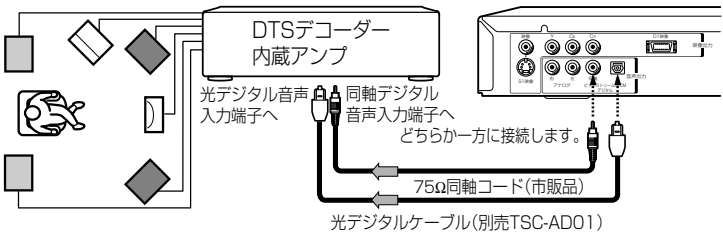
設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2CH」	58 60

この接続方法でドルビーサラウンド・プロロジックをお楽しみになるときは、必ず「音声出力設定」を「アナログ2CH」に設定してください。

* サラウンドスピーカーは1本または2本接続します。2本接続しても、音声はモノラルになります。

他の機器との接続（つづき）

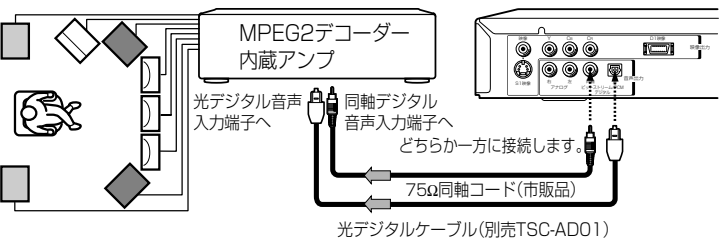
DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

DTS
劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

DTSおよびDTS Digital Out はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

- DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	58 60
音声方式	DTS	43

MPEG2デコーダー内蔵アンプと接続する

MPEG2
本機とMPEG2デコーダーを内蔵したアンプ、またはMPEG2プロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- MPEG2対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

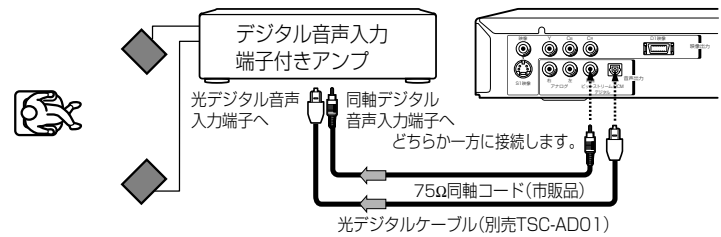
設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	58 60
音声方式	MPEG2	43

デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

2チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム(フロント右、左)につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。

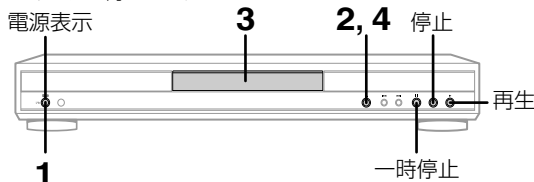
• 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「PCM」	58 60

再生（基本編）

ディスクを再生してみましょう。

- ●ディスクの再生
- ●いろいろな速さの再生
- ●頭出しサーチ

ディスクの再生

ディスクを再生します。

⚠注意

- ディスクトレイに、手を入れないこと
  指をはさみ、けがの原因となることがあります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。

DVD VCD CD ディスクを再生する

■準備

- ディスクの映像を楽しむときは、テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。

1 電源ボタンを押す

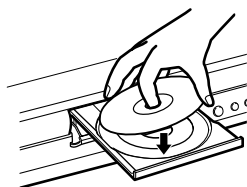
本機の電源が入り、電源表示が赤(待機状態)から緑(電源入り状態)に変わります。

電源を入れた初回だけ、画面にメッセージが表示されます。リモコンの決定ボタンを押し、65〉ページの説明にしたがって設定を行ってから手順2に進んでください。

2 オープン／クローズボタンを押す

オープン／クローズ ▲

ディスクトレイが開きます。

3 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして置きます。

- 再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。

4 オープン／クローズボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCD 9〉 を再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」をご覧ください。30〉

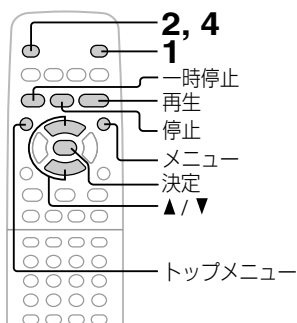
- メニュー画面は、ディスクによって自動的に表示される場合と、トップメニューボタンやメニューボタンを押して表示させる場合があります。

■ 停止状態から再生を始める

再生ボタンを押す

再生／リプレイ ►

お知らせ

止めたあとの再生(続き再生)については 29〉 ページをご覧ください。

■ より高画質でお楽しみいただくために

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整(シャープネスコントロール)を下げるとノイズが減り、見やすくなります。

■ DVD VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD DVDビデオディスクでお楽しみいただけます。
VCD ビデオCDでお楽しみいただけます。
CD 音楽用CDでお楽しみいただけます。

■ 再生を一時停止する(静止画再生)

再生中に**一時停止**ボタンを押す

普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

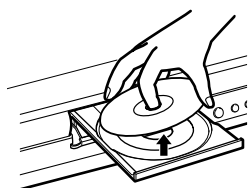
■ 再生を止める

停止ボタンを押す

■ ディスクを取り出す

オープン/クローズボタンを押す

オープン/クローズ ▲

ディスクトレイが最後まで完全に開いてから、ディスクを取り出します。

ディスクを取り出したあとは、オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

DVDビデオディスクの静止画面が長く続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」を「オン」に設定しているとき63)。スクリーンセーバーを解除するときは、再生ボタンを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分続くと、本機の電源が自動的に切れます。

■ トレイロック機能

ディスクトレイが開かないようにロックすることができます。

停止中に、**一時停止**ボタンを約3秒以上押しつづける

一時停止 II/I▶

ロックを解除するときも、停止中に一時停止ボタンを約3秒以上押しつづけます。

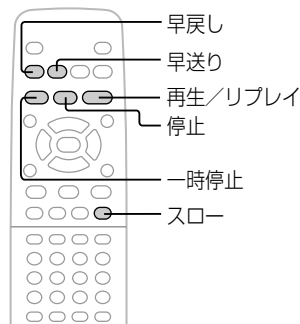
お知らせ

電源を切ったときはロックが解除されます。

お知らせ

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- ディスクトレイの出し入れは、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 再生が終わった後、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、接続しているテレビ画面に焼き付きが生じることがあります。必ず停止ボタンを押して、再生を終了してください。

いろいろな速さの再生

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから
再生することができます。

DVD VCD CD 早送り、早戻しで再生する

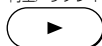
再生中に、早戻し／早送りボタンを押す

早戻し ◄◄

早送り ►►

早戻し: 早戻しの再生
早送り: 早送りの再生

押すたびに、再生する速さが切り換わります。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- DVDビデオディスクでの早送り、早戻し再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。音楽用CDでは音声は再生されます。
- 早送り早戻しの速さは再生するディスクによって異なります。

DVD VCD CD 少し前に戻る(ワンタッチリプレイ)

再生中に、リプレイボタンを押す

再生／リプレイ ►

約10秒前に戻って再生します。

つづけて押すと、さらに戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものがあります。
- ディスクの構造上、機能が制限される部分があります。
- 再生状態(リピート再生など)によっては、操作した通りに戻らない場合があります。

DVD VCD コマ送りで再生する

一時停止(静止画再生)中に、一時停止ボタンを押す

一時停止 II/I►

押すたびに、画像をコマ送りします。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

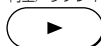
コマ送り再生中は、音声は再生されません。

DVD VCD スローモーションで再生する

再生中に、スローボタンを押す

スロー

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

■ 普通の再生に戻すには

再生ボタンを押す

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

DVD VCD CD 中断したあとの続きを再生する(続き再生)

1 再生を中断する位置で停止ボタンを押す

停止

中断した位置を本機が記憶します。

2 再生ボタンを押す

再生／リプレイ

再生を中断した位置から再生が始まります。

■ 続き再生をしないで始めから再生するには

1 **停止**ボタンを2回押す

停止

続き再生が解除されます。

2 **再生**ボタンを押す

再生／リプレイ

DVD タイトルの始めから再生されます。

VCD CD ディスクの始めから再生されます。

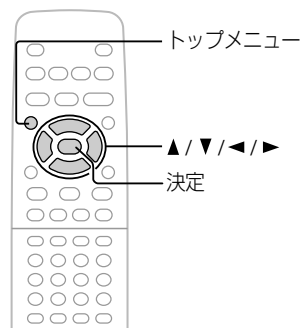
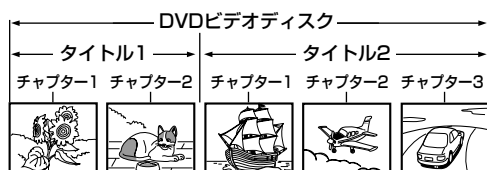
- DVDビデオディスクをディスクの始めから再生したいときは、オープン／クローズボタンを押して一度ディスクトレイを引き出した後で、再生をしてください。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - ■ 機能設定画面で、「ディスクメニュー言語」 61 や「パレンタルロック」 63 の設定を行ったとき
  - ■ PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき 65
  - ■ ディスクトレイを引き出したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。

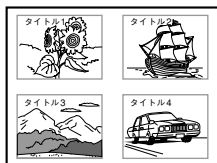
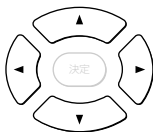
ディスクの再生

頭出しサーチ

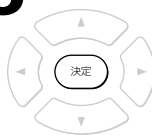
再生したいタイトルやチャプター、トラックを簡単に頭出しできます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

DVD トップメニューで頭出しする

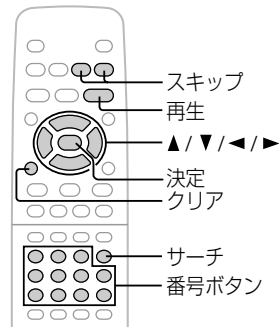
1 トップメニューボタンを押す

トップメニューが表示されます。

例

2 ▲/▼/◄/► ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

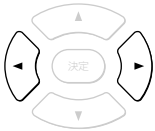
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、決定ボタンを押さずにもう一度トップメニューボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。(ディスクによって異なります。)
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをタイトルボタンと呼んでいる場合があります。

DVD VCD CD 番号を指定して頭出しする

1 サーチボタンを押す

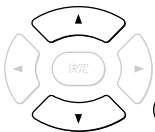
ビデオCD／音楽用CDのときは、手順2は不要です。手順3で、頭出ししたいトラックの番号を、番号ボタンで入力してください。

例

T 1 C 1 -:--:--

2 ◄ / ► ボタンを押して、頭出し先の表示にカーソルを置く

例：チャプターを頭出ししたいとき

T 1 C 1 -:--:--

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、頭出し先の番号を入力する

番号ボタンでも入力できます。
例：25を入力する

4 必要に応じて、手順2，3を繰り返す

5 再生ボタンまたは決定ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- クリアボタンを押すと、番号の表示は設定前に戻ります。表示そのものを消すときは、サーチボタンを数回(ディスクの種類によって異なります)押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。

DVD VCD CD 前後のチャプター／トラックを頭出しする

スキップ(⏮/⏭)ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

スキップ ⏭　1つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

スキップ ⏮　現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、1つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

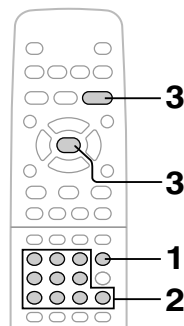
- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- 再生中に、本体の⏮/⏭(スキップ)ボタンを押し続けると、早戻し、早送りの再生になります。その後、スキップボタンを押すたびに速さが切り換わります。
  早戻し、早送りの再生中にチャプター／トラックの頭出しをするときは、再生ボタンを押していったん普通の再生に戻した後で、スキップボタンを押してください。
- 「タイトル停止」65を「オフ」に設定しているときは、他のタイトルのチャプターも頭出しできます。ただし、⏮ボタンで前のタイトルに戻ったときは、そのタイトルの最初のチャプターが頭出しされます。「タイトル停止」が「オン」に設定されているときは、現在のタイトル内だけでチャプターの頭出しができます。

再生（応用編）

こんなな使い方もできます。

- ●タイムサーチ再生
- ●繰り返し再生
- ●メモリー再生
- ●ランダム再生
- ●ズーム再生
- ●画質の切り換え（E.P.M.）
- ●音質の切り換え（E.A.M.）
- ●アングルの切り換え
- ●字幕の表示と切り換え
- ●音声の切り換え
- ●使用状態と各種設定
- ●MP3／WMAファイルの再生
- ●JPEGファイルの再生

タイムサーチ再生

ディスクの経過時間を指定して頭出しができます。

DVD VCD CD タイムサーチで頭出しする

1 サーチボタンを押す

サーチ T

ディスクの種類で押す回数が異なります。時計アイコンの位置にカーソルが移動するまで押してください。

例

T 1 C 1 -:--:--

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

例

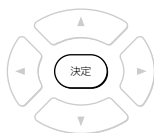
T 1 C 1 1:25:30

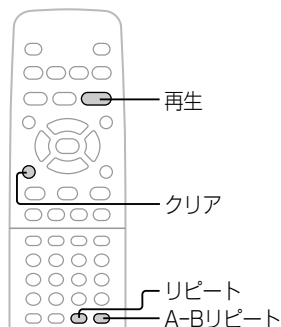
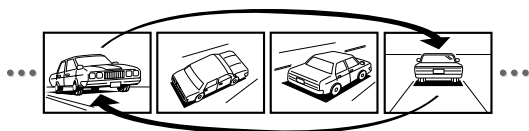
3 再生ボタンまたは決定ボタンを押す

再生／リプレイ ►

指定したところから再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
- タイムサーチできるのは、DVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、ビデオCD／音楽用CDでは現在選択している同じトラック内です。

繰り返し再生

タイトルやチャプター、トラック、再生したい部分だけを繰り返し再生できます。

DVD VCD CD タイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生する

1 リピートボタンを押す

リピート

ボタンを押すたびに、繰り返し再生の種類が変わります。

チャプターリピート

DVD	チャプターリピート	同じチャプターを繰り返し再生します。
DVD	タイトルリピート	同じタイトルを繰り返し再生します。
VCD CD	トラックリピート	同じトラックを繰り返し再生します。
DVD VCD CD	オールリピート	ディスク全体を繰り返し再生します。
	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

2 再生ボタンを押す

再生／リプレイ

繰り返し再生が始まります。
再生ボタンはリピートボタンを押したあと、約5秒以内に押してください。

■ 普通の再生に戻すには

クリアボタンを押す

クリア

お知らせ

ディスクによっては、繰り返し再生ができないものがあります。

DVD VCD CD 範囲を指定して繰り返し再生する

1 再生中に、繰り返し再生したい範囲の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

A–Bリピート

A–

2 繰り返し再生したい範囲の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

A–Bリピート

自動的にA点に戻り、指定した範囲(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

A–B

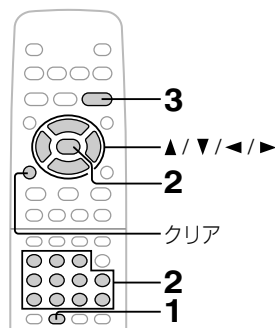
■ 普通の再生に戻すには

クリアボタンまたは**A-Bリピート**ボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、A-B間の繰り返し再生ができないものがあります。
- 同じタイトル(ビデオCDの場合はトラック)の中だけで、A-Bの設定ができます。
- マルチアングル41で記録されている部分では、A-B間の繰り返し再生はできません。
- ディスクによって、繰り返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、トラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。最大30通りまで設定できます。

好きな順番で再生する

1 ディスクを入れ、停止中にメモリーボタンを押す

メモリー再生の設定画面が表示されます。

T： タイトル番号
CT：チャプター番号
　　またはトラック番号

2 再生したい順番に番号を入力し、決定ボタンを押す

▲/▼/◄/► ボタンを押すたびに、カーソル(■)が移動します。カーソルがそれぞれ入力する位置にあることを確認してから、番号ボタンを押してください。

同じタイトル内のチャプターを続けて設定するときは、タイトル番号を入力する必要はありません。

ビデオCD、音楽用CDのときは、トラック番号を入力します。

3 メモリー画面の表示中に、再生ボタンを押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■ 設定が終わった内容を修正するには

1 画面上で、▲/▼/◄/► ボタンを押して、修正したい項目にカーソルを合わせる
2 番号を設定し直す

■ 設定が終わった内容を取り消すには

1 画面上で、▲/▼ ボタンを押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる
2 **クリア**ボタンを押す

■ メモリー再生から普通の再生に戻すには

クリアボタンを押す

表示窓のメモリー再生表示が消えます。

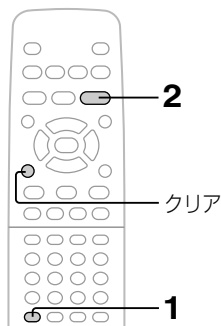
■ 再生中にメモリー内容を変更するには

再生中に**メモリー**ボタンを押すと、入力用のウインドウが現われます。手順**2**～**3**を行ってメモリー内容を変更します。

お知らせ

- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- メモリー再生中にリピートボタンを押すと、現在進行中のメモリー再生を繰り返します。
- 画面の表示中にメモリーボタンまたはリターンボタンを押すと、メモリー画面が消えます。
- 本機の電源を切ったときは、設定したメモリー内容が解除されます。

ランダム再生

タイトルを順不同に再生したり、同じタイトル内のチャプターまたはトラックを順不同に再生できます。

タイトル、チャプター、トラックを順不同に再生する

1 ランダムボタンを押す

ランダム

ボタンを押すたびに、ランダム再生の種類が変わります。

チャプターランダム

DVD	チャプターランダム	同じタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
DVD	タイトルランダム	ディスク内のタイトルを順不同に再生します。
VCD CD	トラックランダム	ディスク内のトラックを順不同に再生します。
	ランダムオフ	普通の再生に戻ります。

再生中にこの操作をすると、現在のタイトル、チャプター、トラックを終わりまで再生したあとで、他のタイトル、チャプター、トラックを自動的に選んで再生します。

2 再生ボタンを押す

再生／リプレイ

ランダム再生が始まります。
再生ボタンはランダムボタンを押したあと、約5秒以内に押してください。

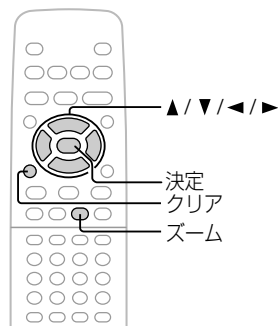
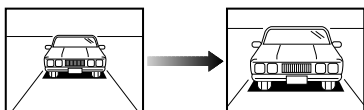
■ 普通の再生に戻すには

クリアボタンを押す

お知らせ

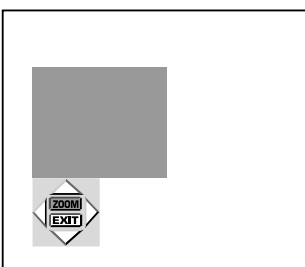
- ディスクによっては、ランダム再生ができないものがあります。
- メモリー再生中は、ランダム再生はできません。

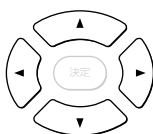
ズーム再生

画面を拡大(ズーム再生)できます。

DVD ズーム再生する

再生中、スローモーション再生中または一時停止中に、ズームボタンを押す

アイコンが表示されズーム再生になります。

例

ZOOM :「ZOOM」を選んだ状態で、決定ボタンまたはズームボタンを押すたびに倍率が切り換わります。
ズーム切り換えには、縮小画面も含まれています。

EXIT :「EXIT」を選んだ状態で決定ボタンを押すと、ズーム状態のままズームアイコンが消えます。

アイコン内の選択は ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを使います。

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押しつづけると、ズームする部分を移動させることができます。

クリアボタンを押すと、ズームする部分が画面の中央に戻ります。

■ **普通の再生に戻すには**

アイコン内の「ZOOM」を選び、**決定**ボタンを数回押してアイコンを消す

アイコンが消えると、ズーム機能は解除されます。

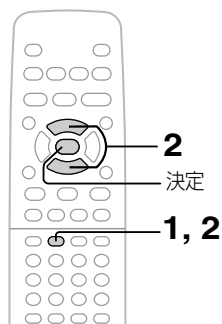
- アイコン内の「EXIT」を選んでズーム再生をしている時は、ズームボタンを押してアイコンを一度表示させてから、普通の再生に戻してください。

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- ズームアイコンの表示中は、ディスクに記録されているメニューの選択ができません。ディスクに記録されているメニューを使うときは、ズームアイコンを消してください。
- 「TV画面形状」60の設定によって倍率は異なります。

ズーム再生

画質の切り換え(E.P.M.※)

数種類の画質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。
※ E.P.M. =Enhanced Picture Mode

画質を切り換える

1 映像調整ボタンを押す

映像調整

設定画面が表示されます。

2 映像調整ボタンまたは ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい画質(アイコン)を選ぶ

ボタンを押すたびに画質が切り換わります。

明るい：
「標準」より明るい画面になります。

標準：
普通の明るさの画面です。

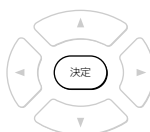
ムービーモード1：
暗い細部が明るくなります。

ムービーモード2：
つややかな画質になります。

アニメモード：
色彩が鮮やかで引きしまった画像になります。

■ **設定画面を消すには**

決定ボタンを押す

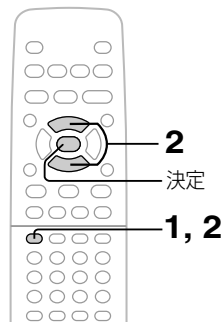
決定

• アイコンを選択後、約5秒間何も操作しないと、設定画面は消えます。

お知らせ

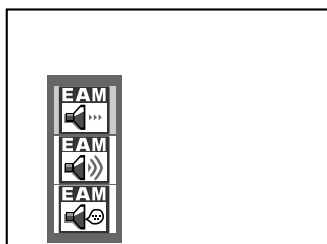
画質の説明は一般的な目安の表現です。お好みに合わせて設定してください。

画質の切り換え

音質の切り換え(E.A.M.※)

数種類の音質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。
※ E.A.M. =Enhanced Audio Mode

DVD 音質を切り換える

1 音場効果ボタンを押す

設定画面が表示されます。

2 音場効果ボタンまたは ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい音質(アイコン)を選ぶ

ボタンを押すたびに音質が切り換わります。

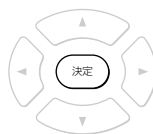
標準：
普通の音声です。

3D＊：
2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

ムービーボイス＊：
主にセリフなどの部分の音量が上がります。
- ビットストリーム／PCM端子を使ってムービーボイスでお聞きになるときは、「音声出力設定」を「PCM」に設定してください。60

＊ ドルビーデジタルで記録されたディスクの再生時に有効。

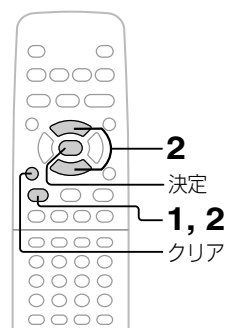
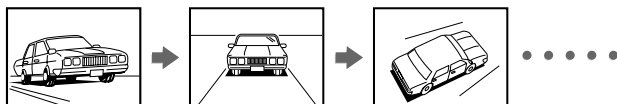
■ **設定画面を消すには**

決定ボタンを押す

- アイコンを選択後、約5秒間何も操作しないと、設定画面は消えます。

お知らせ

- 音質の説明は一般的な目安の表現です。お好みに合わせて設定してください。
- 実際の音場効果はディスクによって異なります。
- ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプに接続して、ドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむ場合は「標準」に設定してください。
  「標準」以外では、正常な音とならない場合があります。
- 「ムービーボイス」を選ぶと、「Dレンジコントロール」は働きません。61

アングルの切り換え

複数の角度（マルチアングル）で記録されている場所では、
画像を好きなアングルに切り換えられます。

DVD アングルを切り換える

1 再生中に、アングルボタンを押す

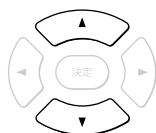
アングル

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓にアングルアイコン(🎥)が点滅します。
アングルアイコンが点滅しているときに、好きなアングルに切り換えることができます。

例

2 アングル番号の表示中に、アングルボタンまたは ▲ / ▼ ボタンを押す

アングル

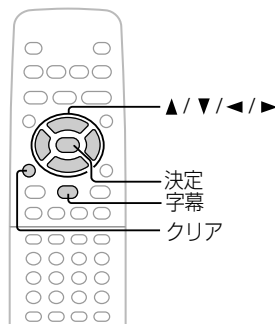
押すたびに、アングルが切り換わります。

番号ボタンで直接アングル番号を入力して切り換えることもできます。

アングル番号表示を消すには、クリアボタンまたは決定ボタンを押します。

お知らせ

- 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の表示と切り換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、好きな字幕に
切り換えられます。

DVD 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、字幕ボタンを押す

字幕

現在の字幕設定を表示します。

例

言語名はコードで表示されます。
言語コード表 66と照らし合わせてください。

2 字幕設定の表示中に、字幕ボタンまたは▲/▼ ボタンを押す

字幕

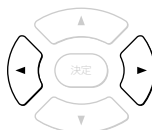
繰り返し押して、好きな字幕言語を選びます。
表示されない字幕言語は、ディスクに記録されていません。

クリアボタンもしくは決定ボタンを押すと、字幕設定の表示が消えます。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

1 再生中に**字幕**ボタンを押す

字幕

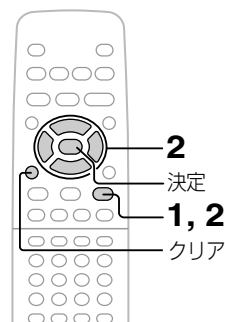
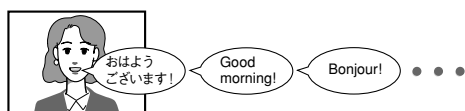
2 字幕設定表示中に、◄/►ボタンを押して、「オン」または「オフ」を選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- 再生している場所によっては、「オン」を選んでも、すぐには字幕が表示されないことがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

お知らせ

- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定62の言語になります。ディスクによっては、ディスクで決められている言語になります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

音声の切り換え

複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD VCD 音声を切り換える

1 再生中に、音声ボタンを押す

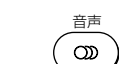
音声

現在の音声設定を表示します。

例

言語名はコードで表示されます。
言語コード表 66と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、音声ボタンまたは▲/▼ボタンを押す

音声

繰り返し押して、好きな音声を選びます。数回押して希望の音声にならないときは、その音声がディスクに記録されていません。

◄/►ボタンを押すと、音声出力方式60の切り換えができます。

クリアボタンもしくは決定ボタンを押すと、音声設定の表示が消えます。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

音声ボタンを押して、音声チャンネルを選ぶ

音声

お知らせ

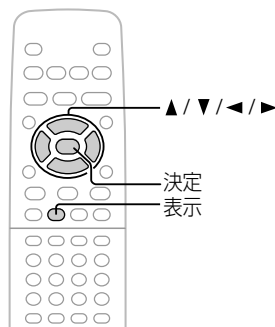
- ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定62の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

■ 出力される音声の種類

ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力設定」58 60と出力端子					
			「ビットストリーム」		「アナログ2CH」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—
	MPEG1, MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)

(網かけ): 3D再生可能

使用状態と各種設定

ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。
また、画面上から各種の設定ができます。

DVD VCD CD 使用状態と各種設定

表示ボタンを押す

表示

以下のような表示が出ます。
表示ボタンを押すたびに内容が変わります。

くわしくは各項目の ⟩内のページをご覧ください。

例：DVDビデオディスク再生時

T 2 C 3 1:41:09
1) 1) 1)

◄/►ボタンでアイコンを選び、決定ボタンを押す(1) を除く)と、各設定画面になります。 45

各設定の現在の状態です。くわしくは各ページをご覧ください。

40
39
60 (BST：「ビットストリーム」/ 2CH：「アナログ2CH」/ PCM：「PCM」)
38

アイコンの意味と設定の状態

タイトル総数： 2
←→：選択 ↑↓：変更

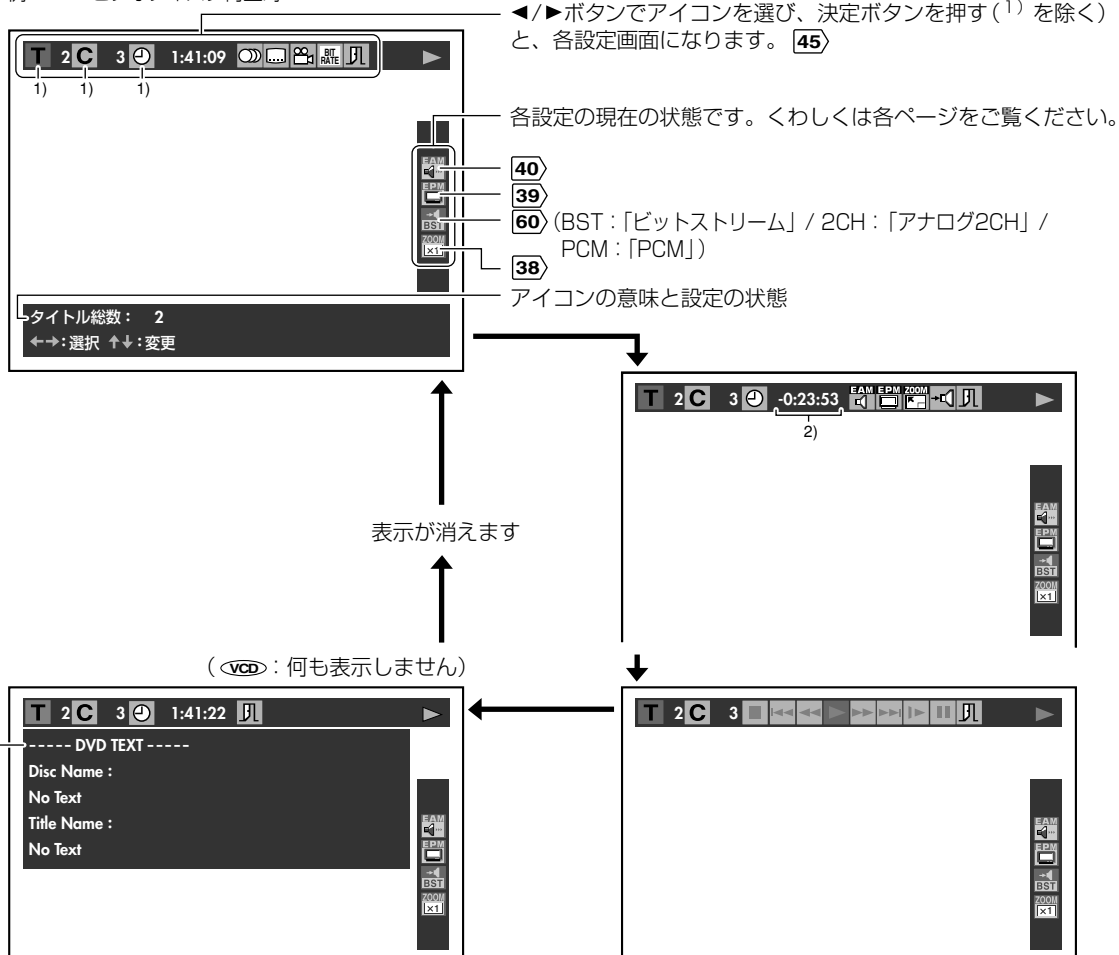
T 2 C 3 -0:23:53
2)

表示が消えます

(VCD：何も表示しません)

T 2 C 3 1:41:22

----- DVD TEXT -----
Disc Name :
No Text
Title Name :
No Text

T 2 C 3

DVDテキスト(音楽用CD再生時はCDテキスト)が記録されていれば表示します。
(ディスクによっては、文字が正しく表示されないことがあります。)

使用状態と各種設定

■ アイコンの機能

([1]は決定ボタンを押す必要はありません。)

T [1]: タイトル番号(トラック番号)
番号表示と頭出し 31

C [1]: チャプター番号
番号表示と頭出し 31

[1]: 経過時間の表示/残量時間の表示([2])
タイムサーチで頭出し 34

: 音声の切り換え 43

: 字幕の切り換え 42

: アングルの切り換え 41

BIT RATE : ビットレート(Mbps)
1秒間に送られるDVDビデオディスクの画像、音声、字幕の情報量
数字が大きいほど、処理される情報量は増えますが、必ずしも画質がよくなるとは限りません。

ビットレートを常時表示させるには

▲/▼ボタンで「ビットレート　オン」を選び、決定ボタンを押す

例

表示を消すには「ビットレート　オフ」を選びます。

以下の操作をしても「ビットレート　オフ」になります。
—ディスクトレイを引き出す
—本機の電源を切る

: 表示を消す

EAM : 音質の切り換え 40

EPM : 画質の切り換え 39

ZOOM : ズーム再生 38

: 音声出力設定 60

: 停止 27

: スキップ(チャプター/トラックの頭出し) 31

: 早戻し 28

: 再生 26

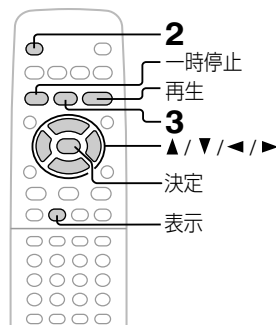
: 早送り 28

: スキップ(チャプター/トラックの頭出し) 31

: スロー 29

: 一時停止 27

MP3/WMAファイルの再生

CD-RまたはCD-ROMにMP3／WMA形式で保存したファイルが再生できます。

MP3/WMAファイルの再生

■準備

- 本機で対応できるディスクであることを確認してください。47
- 「優先再生」を「音声」に設定してください。65

1 MP3/WMAファイルが記録されているディスクを、ディスクトレイに置く

2 オープン／クローズボタンを押す

オープン／クローズ ▲

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

3 再生を止めるときは、停止ボタンを押す

停止 ■

■ 再生を一時停止する

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

■ ファイル(曲)を選んで聴く

1 **表示**ボタンを押す
2 ◄ / ► ボタンで「 」のアイコンを選び、決定ボタンを押す
曲名が一覧表示されます。
3 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンで曲を選ぶ
(◄ / ► ボタンで前後のページへ移動できます。)
緑色は現在演奏中の曲を示します。
4 **決定**ボタンを押す
選んだ曲の再生が始まります。

お知らせ

- 曲は番号で選ぶこともできます。Tボタンを押し、次に▲ / ▼ボタン(または番号ボタン)を押して、聞きたい曲の番号を表示させたあと、決定ボタンを押します。
- 画面表示を消すには、表示ボタンを数回押します。
- ファイル名やフォルダ名は一定の表示範囲を超えると省略されます。

お知らせ

- MP3とWMAの混在したディスクでは、ファイル形式が切り換わると曲が始まるまでに多少時間がかかることがあります。
- WMAを記録したディスクの場合は、曲間が長くなることがあります。
- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護をかけて記録されたWMAファイルは再生できません。
- MP3/WMAファイルの再生では、ビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子からは、「音声出力設定」60の実際の設定状況にかかわらず、リニアPCM音声が出力されます。
- 停止ボタンを押して再生を停止したあとに、続けて再生ボタンを押した場合、再生は止めた位置からではなくその曲の最初から始まります。
- スキップ 31、リピート 35、ランダム 37の各機能も使えます。

■ 準備

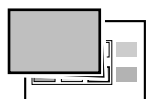
このDVDビデオプレーヤーに適合したMP3/WMA記録ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R（650MB/74Min.のみ） CD-RWはおすすめできません。
サンプリング周波数：	44.1 kHzのみ
ビットレート：	WMA：48 kbps ～ 192 kbps（固定ビットレート） MP3： 32 kbps ～ 320 kbps（固定ビットレート）
CD物理フォーマット：	Mode 1およびMode 2 XA Form1
ファイルシステム：	ISO9660レベル1、2またはJoliet
ファイル名：	英数字のみで構成され、末尾に拡張子「MP3」または「WMA」がつくこと。 （例「○○○○○○○○.MP3」、「○○○○○○○○.WMA」） “？！＞＜＋＊}{｀［@］：；￥／.，”など、特殊な文字が使われていないこと。
フォルダの総数：	255以下
ファイルの総数：	999以下
WMAコーデック：	V7またはV8（ステレオ音声のみ）

インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますのでご注意ください。

JPEGファイルの再生

CD-RにJPEG形式で保存したファイルが再生できます。
サムネイル（縮小画像）での一覧表示、シングルイメージビュー、スライドショーの再生が楽しめます。画像の回転、拡大、移動もできます。

サムネイル表示

シングルイメージビュー

スライドショー

サムネイル表示を起動する

■準備

- JPEG画像が記録されたディスクを用意してください。55
- 「優先再生」を「フォト」に設定してください。65
- 接続したテレビの画面形状を、4：3に設定してください。JPEGファイル再生では、映像信号は本機の設定にかかわらず常に4：3の画面形状で出力されます。テレビ側が例えば「ワイド」など、4：3以外の画面形状に設定されていると、画像の横のびが生じます。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 オープン／クローズボタンを押して、ディスクトレイを開ける

オープン／クローズ

2 JPEGファイルが記録されているディスクを、ディスクトレイに置く

3 オープン／クローズボタンを押す

オープン／クローズ

ディスクトレイが閉まり、ディスクの情報の読み込みが始まります。

読み込みが終わると、ディスクの作り方により、本機は以下のどちらかのモードに入り、自動的に表示を出します。それぞれ下に示した手順に進んでください。

自動的にサムネイル表示を出します。
（オート・モード）

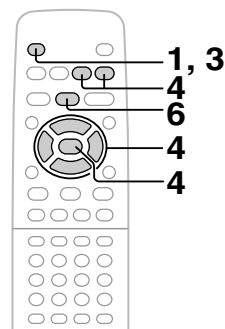
例

49 ページ、手順4へ。

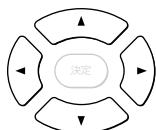
ディスク内のフォルダの一覧を出します。
（フォルダ選択モード）

例

ROOT
ROOT
DCIM
OTHERS
PICTURES
SHOPDATA
VIEWER
↑↓←→:選択 ◉:サムネイル

54 ページ、「見たいフォルダを選ぶ」へ。

4 ページを移動する

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンで、6番目(右下)の画像を選び、 ►ボタンを押す

(▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンで、最初(左上)の画像を選び、 ◄ボタンを押す)

「 → (または←)」を選んで決定ボタンを押してもページが切り換わります。

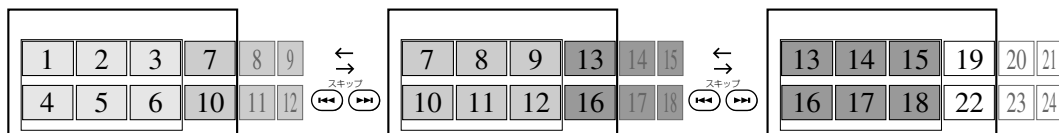
または

スキップボタンを押す

スキップ

►►I:次の6枚へ。

I◄◄:前の6枚へ。

ページは以下のように変わります。

5 画像の見かたを選ぶ

ーシングルイメージビューで見る 51

ースライドショーで見る 53

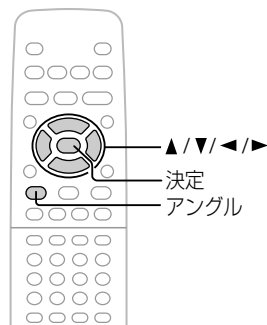
6 停止ボタンを押して再生を終了する

停止

- 停止ボタンを押した後に再生ボタンを押すと、サムネイル表示に戻ります。
- オープン/クローズボタンを押しても再生は終了します。

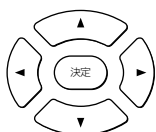
お知らせ

- オート・モードで出たサムネイル表示は、何も操作しないと約20秒で自動的にスライドショーに切り換わります。
- 「スクリーン・セーバー」63を「オン」に設定しているときは、サムネイル表示は何も操作しないと約10分でスライドショーに切り換わります。
- ファイルのサイズによっては画像の一部が表示されないことがあります。

JPEGファイルの再生(つづき)

サムネイル表示を起動する

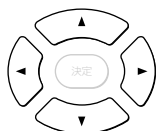
■ 再生の順序を逆にする

撮影した機器などによっては、ファイルの番号と撮影順が逆になる場合があります。このようなディスクを再生するときは、再生の順序を逆にすると、実際に撮影した順に画像が見られます。

▲/▼/◄/► ボタンを押して「 」を選び、**決定**ボタンを押す

お知らせ

逆転した順序は、ディスクトレイを開けるか電源を切ると元に戻ります。

■ サムネイル表示中に、画像の回転を設定する

1 ▲/▼/◄/► ボタンを押して画像を選ぶ

2 **アングル**ボタンをくり返し押す

アングルボタンを押すたびに、90度ずつ回転が設定できます。アイコンが設定した向きを示します。実際の画像の回転は、このアイコンのサムネイルをいったん他の表示に切り換えて消したあとで、確認できます。

お知らせ

回転させた画像は、JPEG再生を終了すると元に戻ります。

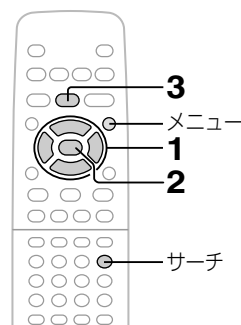
■ フォルダの一覧を表示させる

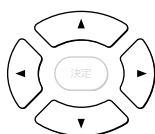
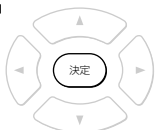
1 ▲ボタンを押して、サムネイル表示上部(ヘッダー)のフォルダ名を選ぶ

2 **決定**ボタンを押す

フォルダの一覧が表示されます。

再生するフォルダが選べます。くわしくは54ページをご覧ください。

JPEGファイルの再生

シングルイメージビュー

1 サムネイル表示中に、▲/▼/◄/► ボタンを押して画像を選ぶ

2 決定ボタンを押す

選んだ画像が単独で表示されます。

3 停止ボタンを押して再生を終了する

- 停止ボタンを押した後に再生ボタンを押すと、スライドショー53が始まります。
- オープン/クローズボタンを押しても再生は終了します。

お知らせ

- ファイルのサイズによっては画像の一部が表示されない場合があります。
- 「スクリーン・セーバー」63を「オン」に設定しているときは、シングルイメージビューは何も操作しないと約10分でスライドショーに切り換わります。

■ 画像の番号を確かめる

「サーチ」ボタンを押す

お知らせ

- 番号を消すには「サーチ」ボタンを押します。
- 番号を入力して画像を選ぶこともできます。画像の番号を表示させたあと、番号ボタンで番号を入力し、決定ボタンを押してください。画像が表示され、そこからスライドショーが始まります。

■ 画像を切り換える

次の画像を見るときは、► ボタンまたは**決定**ボタンを押す

前の画像に戻るときは、◄ ボタンを押す

お知らせ

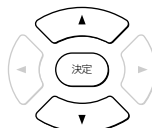
- 画像の再生順を逆にすると、画像の切り換わりかたも逆になります。
- 次の画像へは、一時停止ボタンやスキップ▶▶▮ボタンでも進めます。

■ 再生の順番を逆にする

1 **メニュー**ボタンを押す

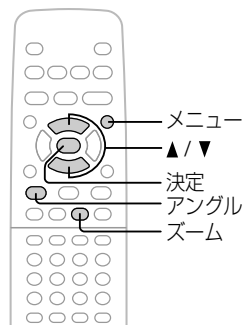
以下のメニューが約5秒間表示されます。

例

2 ▲/▼ ボタンを押して「リバース」を選び、**決定**ボタンを押す

お知らせ

順序をどこで逆転させても常に先頭か末尾に戻ります。

JPEGファイルの再生

JPEGファイルの再生 (つづき)

シングルイメージビュー

■ シングルイメージビューの画像を拡大する

ズームボタンを押す

ズームボタンを押すたびに、以下のように倍率が変わります。

「ズームオフ」(アイコンが表示されます)→「ズーム1」→「ズーム2」→「ズーム3」→「縮小」→元来の大きさ(アイコンが消えます)

お知らせ

- アイコンを消すには、▲/▼/◄/► ボタンでアイコン内の「EXIT」を選び、決定ボタンを押します。
- ズーム再生中の画像は上下左右に移動させることができます。アイコンの表示中に ▲/▼/◄/► ボタンを長押しします。
- 画像を画面から消すと、ズームは解除されて画像の大きさは元に戻ります。

■ シングルイメージビューの画像を回転させる

アングルボタンをくり返し押す

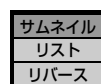
画像が時計回りに90度回転します。

お知らせ

- JPEGファイルの再生を終了すると、画像は通常の向きに戻ります。
- 画像は回転させると再描画されることがあります。

■ フォルダの一覧を表示させる

1 **メニュー**ボタンを押す

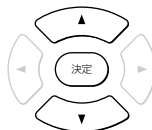
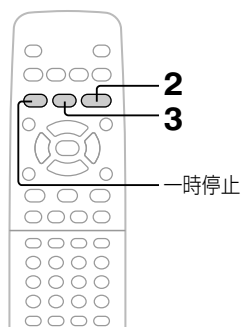
以下のメニューが約5秒間表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「リスト」を選び、**決定**ボタンを押す

フォルダの一覧が表示されます。

再生するフォルダが選べます。くわしくは54ページをご覧ください。

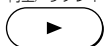
■ サムネイル表示に戻る

1 **メニュー**ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンを押して「サムネイル」を選び、**決定**ボタンを押す

スライドショー

1 サムネイル表示中に、スライドショーを始める画像を選ぶ

この手順を省略すると、現在選択している画像からスライドショーが始まります。

2 再生ボタンを押す

スライドショーが始まります。

3 停止ボタンを押して再生を終了する

- 停止ボタンを押した後に再生ボタンを押すと、スライドショーが再開します。
- オープン/クローズボタンを押しても再生は終了します。

■ **画像の番号を確かめる**

51 ページをご覧ください。

■ **画像を拡大する**

52 ページをご覧ください。

お知らせ

ズーム再生を始めるとスライドショーは一時停止します。

■ **画像を回転させる**

52 ページをご覧ください。

■ **フォルダの一覧を表示させる**

52 ページをご覧ください。

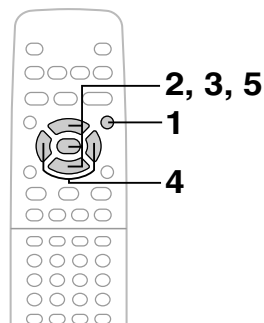
■ **サムネイル表示に戻る**

52 ページをご覧ください。

■ **シングルイメージビューにする(スライドショーを一時停止する)**

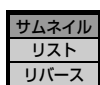
一時停止ボタンを押す

一時停止

JPEGファイルの再生 (つづき)

見たいフォルダを選ぶ

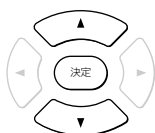
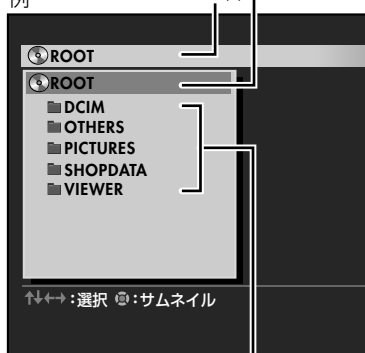
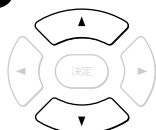
フォルダを選んでその中のファイルだけを再生できます。

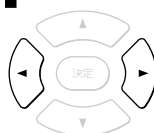
1 シングルイメージビューまたはスライドショー再生中に、メニューボタンを押す

例

サムネイル表示からフォルダの一覧を表示させるには、50ページの「フォルダの一覧を表示させる」の手順を行ない、手順3に進んでください。

2 ▲ / ▼ ボタンを押して「リスト」を選び、決定ボタンを押す

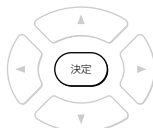
フォルダ名が一覧表示されます。

例

3 ▲ / ▼ ボタンを押してフォルダを選ぶ

4 ◄ / ► ボタンを押してフォルダを選ぶ

►: サブフォルダの選択中に押すと、そのサブフォルダの内容を表示します。
- さらにサブフォルダがあれば次の階層のサブフォルダを表示します。
- 表示できるJPEGファイルがあれば、背景にそのサムネイルを表示します。

◄: 選択中のフォルダにカーソルがある時に押すと、一つ上の階層に戻ります。

5 背景にサムネイルが表示されたら、決定ボタンを押す

サムネイル表示に切り換わります。

サムネイル表示の操作は49ページをご覧ください。

お知らせ

- オート・モードで自動的に出るサムネイル表示は、いったんフォルダを一覧表示させたあとでは、別の内容のサムネイル表示に変わってしまうことがあります。ディスクを本機にもう一度入れ直すと再表示できます。
- ファイル名やフォルダ名は一定の表示範囲を超えると省略されます。

対応JPEGファイル

当社にて動作確認済みの対応ディスクは以下のとおりです。
これらのディスクの多くは、本機に入れると所定のフォルダを再生対象としてオート・モード48を起動します。
他のフォルダを再生するには、フォルダ一覧を表示させてフォルダを選びます。

キヤノン　ハイパーフォト　クイックCD
コダック　ピクチャーCD
コニカカラーCD
フジカラーCD
ノーリツQSS CD

記載の社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

本機で対応できるJPEGディスクは以下のものに限られています。

・ディスクの種類：　CD-ROM、またはCD-R（650MB/74 min.）
　　CD-RWはお奨めできません。
・CD物理フォーマット：　Mode 1、Mode 2 XA Form 1
・ファイルシステム：　ISO9660 Level 1、Level 2またはJoliet
・ファイル名：　英数字のみで構成され、末尾に「.JPG」の拡張子がつくこと。
　　（例：＊＊＊＊＊＊＊＊.JPG）
　　“？！＞＜＋＊｝｛｀［@］：；￥／．，”など、特殊な文字が使われていないこと。
・フォルダの総数：　255以下
・ファイルの総数：　999以下

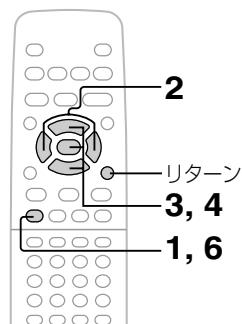
ファイルのサイズによっては、画像の一部が表示されないことがあります。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

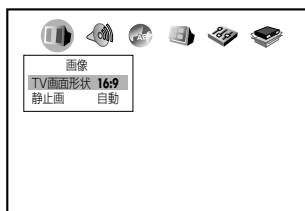
- 初期設定の変更と機能の設定
- 言語コード表

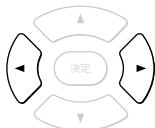
初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

DVD VCD CD 設定のしかた

1 停止中に、セットアップボタンを押す

セットアップ

機能設定画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ ボタンで、設定したい項目のグループを選ぶ

（次ページをご覧ください。）

「画像」に関する設定のグループです。

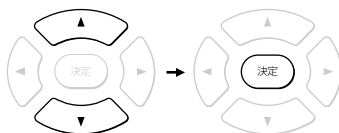
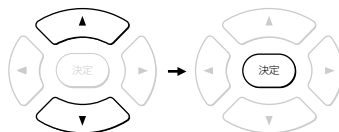
「音声」に関する設定のグループです。

「言語」に関する設定のグループです。

「画面表示」に関する設定のグループです。

「操作」に関する設定のグループです。

使いはじめに行う設定のグループです。

3 ▲ / ▼ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

4 60ページ以降の説明を参照して、▲ / ▼ ボタンなどで設定し、決定ボタンを押す

5 手順3、4を繰り返して他の項目を設定する

他のグループにうつるときは、手順2に戻ってください。

6 セットアップボタンを押す

セットアップ

画面が消え、設定は終わりです。

リターン：画面表示中に**リターン**ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

お知らせ

- 手順を途中で中止したいときは、セットアップボタンを押して機能設定画面を消します。
- セットアップボタンは再生中にも押すことができますが、項目によってはメッセージが表示されて設定ができない場合があります。このときはいったん再生を止めてから設定してください。
- 項目によっては、設定した内容がすぐに有効にならない場合があります。

項目		設定内容	設定の詳細ページ

項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
TV画面形状	DVD	接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	**60**
静止画	DVD	一時停止させた時の画像の解像度を設定します。	**60**

項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
音声出力設定	DVD VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式で出力するかを設定します。	**60**
Dレンジコントロール	DVD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	**61**
カラオケボーカル	DVD	DVDカラオケディスクを再生するときに、ボーカル(歌声)を出力するかどうかを設定します。	**61**

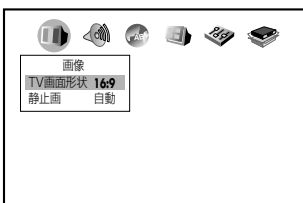
項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
画面表示言語	DVD VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	**61**
ディスクメニュー言語	DVD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	**61**
音声言語	DVD	記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	**62**
字幕言語	DVD	記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	**62**

項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
画面表示	DVD VCD CD	本機の動作状態を画面に表示するかどうかを設定します。	**63**
背景	DVD VCD CD	設定画面などの背景を設定します。	**63**
スクリーン・セーバー	DVD	スクリーン・セーバー(焼付き防止機能)を働かせるかどうかを設定します。	**63**

項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
パレンタルロック	DVD	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	**63**
タイトル停止	DVD	一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。	**65**
PBC	VCD	ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面再生をするかどうかを設定します。	**65**
優先再生		JPEG(画像)ファイルとMP3/WMA(音声)ファイルのどちらを優先して再生するかを設定します。	**65**

項目	対応ディスク	設定内容	設定の詳細ページ
画面表示言語 **TV画面形状** **音声出力設定**	DVD VCD CD	使いはじめに必要な機能を設定します。	**65**

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

TV画面形状 DVD

4:3レターボックス：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面に対して横長に表示します。

4:3ノーマル：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

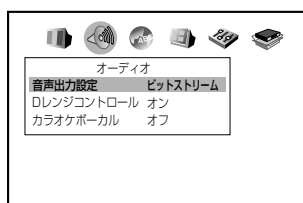
16:9ワイド：16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状通りに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、再生画面に水平方向の歪みや縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

静止画 DVD

自動：通常の設定です。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム：動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

音声出力設定 DVD VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については 43をご覧ください。

ビットストリーム：ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。21 22
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2CH：テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。18 19 21

PCM：2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。23
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

Dレンジコントロール DVD

オフ： Dレンジコントロール機能が働きません。
オン： Dレンジ機能が働きます。

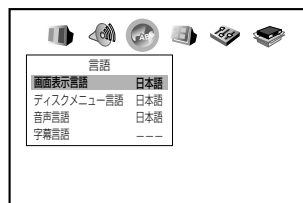
お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって変わります。

カラオケボーカル DVD

オフ： ボーカル(歌声)を出力しません。
オン： ボーカル(歌声)を出力します。

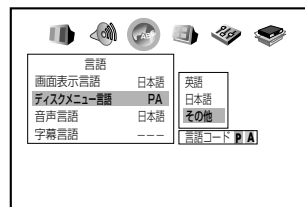
お知らせ

- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録されたDVDカラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、アンプ等を接続してください。

画面表示言語 DVD VCD CD

English： 英語で画面表示をします。
日本語： 日本語で画面表示をします。

ディスクメニュー言語 DVD

英語： 英語でディスクメニューを表示します。
日本語： 日本語でディスクメニューを表示します。
その他： ディスクメニューを表示する言語を選ぶことができます。
決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」66で、希望の言語のコードを確認する
2) ▲ / ▼ ボタンで、コードの第1字を選ぶ
3) ◀ / ▶ ボタンでカーソルを移動させ、▲ / ▼ ボタンで、コードの第2字を選ぶ

4) 決定ボタンを押す

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

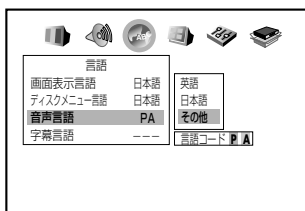
設定の内容

音声言語 DVD

英語：　英語で音声を再生します。

日本語：日本語で音声を再生します。

その他：音声を再生する言語を選ぶことができます。決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」66で、希望の言語のコードを確認する
2) ▲ / ▼ ボタンで、コードの第1字を選ぶ
3) ◀ / ▶ ボタンでカーソルを移動させ、▲ / ▼ ボタンで、コードの第2字を選ぶ

4)決定ボタンを押す

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

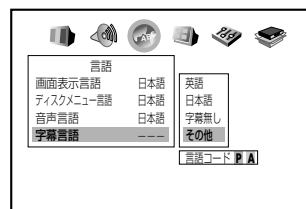
字幕言語 DVD

英語：　英語で字幕を表示します。

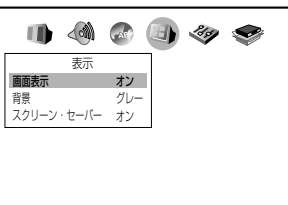
日本語：日本語で字幕を表示します。

字幕無し：字幕を表示しません。

その他：字幕を表示する言語を選ぶことができます。決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」66で、希望の言語のコードを確認する
2) ▲ / ▼ ボタンで、コードの第1字を選ぶ
3) ◀ / ▶ ボタンでカーソルを移動させ、▲ / ▼ ボタンで、コードの第2字を選ぶ

4) 決定ボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

画面表示 DVD VCD CD

オフ：「 ▯▯ 」、「 ▷▷ 」などの動作状態を画面に表示しません。

オン：「 ▯▯ 」、「 ▷▷ 」などの動作状態を画面に表示します。

背景 DVD VCD CD

ブルー： 背景を青色にします。

グレー： 背景を灰色にします。

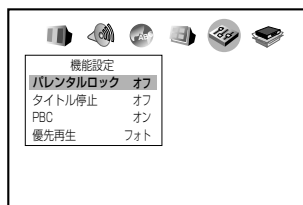
画像： 本機の電源を入れたときに表示される画像が背景になります。

ジャケット： ディスクに記録されているジャケットピクチャーが背景になります。記録されていないときは、自動的にグレーになります。

スクリーン・セーバー DVD

再生画像の一時停止状態が続くと、テレビ画面の焼付きが起こることがあります。これを防止する機能です。

オフ： スクリーン・セーバーは働きません。

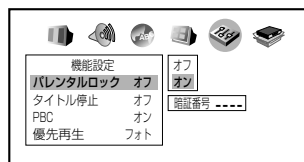
オン： スクリーン・セーバーが働きます。

パレンタルロック DVD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い

ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

オフ： パレンタルロック機能は働きません。
決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

オン： パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)～3)を行ってください。

（つづく）

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

1) 番号ボタンを押して4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す
   番号を入れまちがえたときは、決定ボタンを押す前にクリアボタンを押して、入力し直します。
2) 下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地区のコードを入力する

国／地区	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

a) ▲ / ▼ ボタンで、コードの第1字を選ぶ
b) ◀ / ▶ ボタンでカーソルを移動させ、
   ▲ / ▼ ボタンで、コードの第2字を選ぶ
c) 決定ボタンを押す

3) ▲ / ▼ ボタンで設定したい規制レベルを選び、決定ボタンを押す

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「オフ」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ再生できなくなります。
「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」(アメリカ)を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　　レベル3：PG
レベル6：R　　　　レベル1：G
レベル4：PG13

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順1)～3)を行う

■暗証番号を変えるには

1) 「オン」「オフ」を選んだあとで、停止ボタンを4回押し、さらに決定ボタンを押す

   暗証番号が解除されます。
2) 番号ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力する
3) 決定ボタンを押す

タイトル停止 DVD

オフ： １つのタイトルが終わっても続けて再生します。

オン： １つのタイトルが終わったら再生を停止します。

PBC VCD

オフ： ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

オン： ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使って再生するとき。

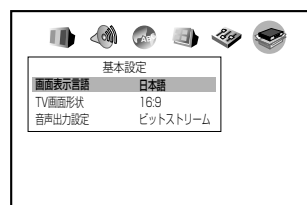
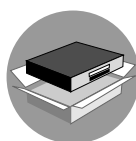
優先再生

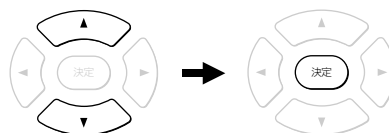
JPEG（画像）ファイルとMP3／WMA（音声）ファイルのどちらを優先して再生するかを設定します。

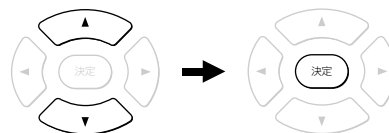
フォト： JPEGファイルを優先して再生します。

音声　： MP3／WMAファイルを優先して再生します。

お知らせ

この設定とディスクの内容が合っていないと、再生が始まるまでに時間がかかります。

基本設定 DVD VCD CD

1）▲ / ▼ ボタンで「画面表示言語」を選び、決定ボタンを押す

2）▲ / ▼ ボタンで言語を選び、決定ボタンを押す

61 ページ、「画面表示言語」をご覧ください。

3）手順1）、2）の要領で他の項目も設定する

60 ページ、「TV画面形状」および
60 ページ、「音声出力設定」をご覧ください。

言語コード表

言語コード表

記号	言語名
ーーー	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語

記号	言語名
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語

記号	言語名
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

その他

- ●故障かな…？と思ったときは
- ●仕様
- ●保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	• 電源プラグが抜けている。	• 電源プラグをしっかりと差し込む。	**18, 19**
電源が自動的に切れた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 再生ボタンを押す。	**27**
画像が出ない。	• テレビの入力切り換えが正しくない。	• テレビの入力切り換えを、本機からの画像が映るように切り換える。	**26**
	• 映像接続コードがしっかりと接続されていない。	• 映像接続コードをしっかりと差し込む。	**18, 19**
音声が出ない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えが正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えを、ディスクからの音声が出力されるように切り換える。	**26**
	• 音声接続コードがしっかりと接続されていない。	• 音声接続コードをしっかりと差し込む。	**18 – 23**
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源が入っていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。	**26**
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。	**43, 58 60**
画像や音声が乱れることがある。	• ディスクが汚れている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。	**10**
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	**–**
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。	• コピー防止機能が働いている。	• 本機とテレビを直接接続する。	**18**
再生が始まらない。	• ディスクが入っていない。	• ディスクを入れる。	**26**
	• 本機で再生できないディスクが入っている。	• 再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する。	**9**
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。	**26**
	• ディスクがななめに入っている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。	**26**
	• ディスクが汚れている。	• ディスクをきれいにする。	**10**
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。	**58, 63**
ディスクで決められた通りの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められた通りの再生ができないことがあります。	**–**
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響により本機が動作しなくなっている。	• 本体の電源ボタンを約3秒以上押す。本機の電源が切れた後で、もう一度電源ボタンを押して電源を入れ直す。それでも動作しないときは、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	**–**
リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。	**15**
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約7m以内のところで操作する。	**15**
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。	**15**
ディスクトレイが開かない。	• トレイロック機能が働いている。	• 停止状態で、一時停止ボタンを約3秒以上押す。	**27**

仕様

本体部／端子部／付属品

[本体部]

電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	10W
質量	2.2kg
外形寸法	幅430×高さ60×奥行212mm
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビション方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650／780nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声　：48kHz サンプリング 4Hz〜22kHz (EIAJ) ：96kHz サンプリング 4Hz〜44kHz (EIAJ)
信号対雑音比（S/N比）（デジタル音声）	112dB以上
ダイナミックレンジ（デジタル音声）	102dB以上
全高調波ひずみ率（デジタル音声）	0.002%以下
ワウ・フラッタ	測定限界（±0.001% (W. PEAK)) 以下 (EIAJ)
使用条件	温度：5℃〜35℃、動作姿勢：水平

[端子部]

映像出力	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S1映像出力	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1 (C) 0.286V(p-p)、75Ω
コンポーネント映像出力(Y、C_B、C_R)	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1 (C_B/C_R) 0.7V(p-p)、75Ω、ピンジャック×2
D1映像出力	14ピン、2列、1.27mmピッチ (Y) 1.0V(p-p)、75Ω　　(C_B/C_R) 0.7V(p-p)、75Ω
音声出力(ビットストリーム/PCM光端子)	光出力コネクター×1
音声出力 (ビットストリーム/PCM同軸端子)	0.5V(p-p)、75Ω、ピンジャック×1
音声出力（アナログ）	2.0V(rms)、680Ω、ピンジャック(L、R)×1系統

[付属品]

映像・音声接続コード 1本
ワイヤレスリモコン(SE-R0065) 1個
単三形乾電池(R6) 2個

• 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
• 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社の「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは～出張修理

68ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、運転を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品　　名	DVDビデオプレーヤー	
形　　名	SD-200J	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　　ー

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』　フリーダイヤル **0120-1048-41**（トーシバ　ヨイ）

新製品などの商品選び、お取扱い、お手入れ方法などのご相談

『東芝家電ご相談センター』　フリーダイヤル **0120-1048-86**（トーシバ　ハロー）（365日・24時間受付）
携帯電話、PHSからのご利用は (03)3426-1048
FAX (03)3425-2101（365日・8：00～20：00受付）

※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105－8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

79100025
Ⓗ PM0008582011